

令和5年度第2回小田原市青少年未来会議 会議録

1 日 時：令和5年10月12日（木） 午後2時30分～4時30分

2 会 場：生涯学習センターけやき 視聴覚室（3階）

3 出席者

(1) 委員 笠原会長、本多副会長、堀内委員、吉田委員、富樫委員、永森委員、益田委員
中島委員、加藤委員、岩崎委員、塩浦委員、伊東委員、赤羽委員、竹内委員

(2) 市職員 【子ども若者部】山下部長、中井副部長
【青少年課（事務局）】筒井課長、藤野係長、吉村主査、神田主任、
内田主事、小西主事補

(3) 傍聴者 0人

4 次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

大変お忙しい中、全員ご出席をいただきありがとうございます。前回の会議で、目標と基本方針の3点について決定していただきました。その後、2回の部会を経て、皆様にも実施方針をお送りし、本日、方針の素案について御意見をいただき、答申が出来ればと思いますので、よろしくお願ひいたします。またその他にも議題がございますので、それぞれの立場で積極的に御意見を仰っていただき、より良い会議としていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(3) 議題

ア 小田原市青少年善行賞について【非公開】

イ 優良青少年団体並びに青少年育成功労者等表彰における被表彰者の選考【非公開】

ウ 青少年と育成者のつどいについて

エ 「（仮称）小田原市青少年健全育成施策推進方針」の素案について

オ 「（仮称）小田原市青少年健全育成施策推進方針」の名称について

(4) その他(事務連絡等)

(5) 閉会

5 会議の概要 【議事進行は笠原会長】

議 題	
(1) 協議事項	
ア 小田原市青少年善行賞について【非公開】	
イ 優良青少年団体並びに青少年育成功労者等表彰における被表彰者の選考【非公開】	
ウ 青少年と育成者のつどいについて	
事務局（吉村）	資料のとおり説明。
エ 「（仮称）小田原市青少年健全育成施策推進方針」の素案について	
事務局（吉村）	スケジュールと実施方針の一部修正点について、資料のとおり説明。
事務局（吉村）	「第1章 方針の策定にあたって」と、「第2章 策定の背景」について資料のとおり説明
益田委員	「第3章目標とする社会と基本方針」と、「第4章 実施方針」について資料のとおり説明。
笠原会長	皆様のそれぞれの立場でご確認をいただき、構成や体裁、文章表記について何かあるか。

吉田委員	<p>2ページ目に国、県、市の動向を載せているが、現在、国ではこども大綱を策定中である。既存の「子ども・若者育成支援推進大綱」、「子どもの貧困対策に関する大綱」、「少子化社会対策大綱」に関する3大綱がこども大綱に集約される。国も年末までには整理して方向性を出すとしている。県の動きとしては、子ども子育て会議では、3つの計画等を統合し、再編していくとしている。</p> <p>こども大綱は、現在、策定予定のため、まだ詳細が公表されていないにしても、何か言及する必要があると思ったがいかがか。</p>
笠原会長	事務局としてはどういう考えか。
事務局（筒井課長）	市の方でも、来年度、子ども大綱に基づく計画を策定していく予定でいる。その中に、今回策定している方針をもとに、事業等については整理していく方向で考えている。こども計画を策定する上で、考え方のもととなる方針を検討していただいている。
事務局（山下部長）	<p>こども大綱は当初は秋頃に、策定予定と言っていたが、現在のところ年内の策定予定となっている。実際にこちらの方針が、策定されるのは来年2月以降になる予定のため、「子ども・若者育成支援推進大綱」が「こども大綱」になってくると考えている。</p> <p>第3回の会議の場で皆様にご説明をさせていただきたいと思っている。</p>
笠原会長	吉田委員が言われた、このあたりのことは非常に大切なことで、今、議論しているから今の状況で良いという訳ではなく、将来を見据えての整理をお願いしたいと思う。
堀内委員	子ども若者の表記が一言になっているが、子ども若者の間に「・」を入れないのは取捨のことか。
笠原会長	「子ども若者」と表記するのであれば、注釈が無いと、「・」を入れ忘れたのではないかと感じてしまう。
事務局（筒井課長）	「子ども若者」の表記については、一言注釈を入れさせていただく。
中島委員	<p>第4章の実施方針について、理想的でいいと感じた。実施方針（3）子ども若者に関する相談・支援体制の充実について、学校視点から言わせてもらおうと、スクールカウンセラーの支援の充実を図っていく必要があると感じている。具現化していくためには、現在の状況を資料の中に入れた方が良いのではないか。学校にどのくらいのスクールカウンセラーが入っているのか。生徒と関わる時間が取れているのか。その現状がないと、どのように改善をしていくべきなのか、見えづらいのではないか。</p> <p>言葉だけでまとめてしまうと、スクールカウンセラーは月に1回程度で良いのではないかと思われてしまうのが怖いと感じた。</p> <p>もし、スクールカウンセラーの資料が出せるのであれば、載せた方が良いのではないかと思う。</p>
事務局（筒井課長）	データがあるかどうか、こちらでは把握出来ていないので、所管課に確認する。
事務局（山下部長）	スクールカウンセラーについては、常駐が望ましいと教育委員会でも働きかけがある。しかし、この場では実際の事業については、議論しないとしている。それであっても資料が必要かどうか意見をいただきたい。具体の事業はまたこども計画の中で議論していく。
笠原会長	具体的な事業については、取り扱わないとしているが、中島委員が言われたように、スクールカウンセラーの現状を載せた方が良いのかご意見をいただきたい。

中島委員	実施方針の中で、スクールカウンセラー等による支援についてと記載があるのであれば、説得力をもたせるために、今の現状のデータを載せた方が良いかと思う。
加藤委員	学校の現状を考えると、中学校区でスクールカウンセラーは1人ということを知ってほしいといった思いはある。少しでも載せたほうが見た人は具体的に現状を分かってくれると思う
竹内委員	中島委員に確認だが、説得力とは、必要性に関することなのか、不足している現状に対してなのか。
中島委員	両方だと思っている。月に1回しか来ていないという事実があり、では方針でもっと支援を増やすべきだとなってくる。
竹内委員	単純にデータを入れるだけだと、感じ方は人それぞれだと思う。必要性や増やすということを訴えかけるという意味では、言葉を加えた方がより効果的だと思った。
笠原会長	学校は、スクールカウンセラーの訪問回数を報告しているのか。
加藤委員	は一もにいが訪問回数を集約しているのではないかと思う。
笠原会長	スクールカウンセラー等としているが、学校にはスクールソーシャルワーカーという立場の人もある。スクールカウンセラーを載せるのであれば、スクールソーシャルワーカーも載せた方が良いのではとなるかもしれない。
永森委員	データはビジュアルで訴えかけるものであるが、竹内委員の言うとおり、受け取り方は人それぞれかと思う。どんなデータがあるのかを確認してからかと思う。広げていかなければと思われるようなデータであれば、必要なのかなと思う。
笠原会長	この案件については、事務局と会長で預からせていただいて、どのようなデータがあるのか確認した上で、判断をさせていただき、皆様にお伝えが出来ればと思う。
事務局（山下部長）	スクールカウンセラーのデータについては、載せるとしたら、第2章で掲載をさせていただく。
吉田委員	6ページ目の子ども若者相談取扱件数で、令和2年度以降の相談窓口への相談件数はどこへの相談件数か。
事務局（山下部長）	基本的には、子ども若者支援課の資料のためは一もにいに来られた方の相談件数となる。
吉田委員	は一もにいの前はどこか受け付けていたのか。
事務局（山下部長）	教育指導課と子育て政策課で別々に子ども若者の相談を受けていた。
吉田委員	そのあたりの経緯を記載しておかないと、児童相談所の件数と思う人もいるかもしれない。
笠原会長	令和2年度以前については、教育指導課と子育て政策課の窓口、令和3年度からは、は一もにいと受付窓口の経緯を記載していただくようお願いしたい。 あとは、細かい話になるが体裁で余白をどうするかなど、市の基準などはあるか。
事務局（山下部長）	特に無い。
笠原会長	体裁が整っていると、見やすさは分かりやすさに繋がる。目次を見ると、だいたい内容が分かるが、目次は1ページに収めなくても良いのではないかと思う。 グラフはカラーを使用しているが、カラーで出す予定か。
事務局（筒井課長）	カラーで出す予定で考えている。

永森委員	4ページ目の子ども若者の人口の推移だが、数字のフォントが違うように思える。
事務局（吉村）	フォントを合わせられるように修正する。
笠原会長	他にご意見はないようなので、修正点については確実に修正し、スクールカウンセラーの部分については、後日、委員の皆様にお伝えをさせていただく。
オ 「（仮称）小田原市青少年健全育成施策推進方針」の名称について	
事務局（吉村）	資料のとおり説明。
笠原会長	確認になるが、パブリックコメントについても今回決めた名称で実施されるのか。
事務局（吉村）	今回決める名称で実施予定である。
事務局（筒井課長）	頭に仮称は付ける予定である。
吉田委員	子ども若者未来指針もいいと思うが、県との整合性も考えると、何のための計画なのか理解が難しい。子ども若者もいいと思うが、健全育成は引がかかるので使わないで欲しいと思う。支援は使って欲しいなどと思うが、ただ支援を使うとか県の指針と被るところはある。「子ども」の漢字の使い方についてどうするかといった整理も必要かなど。国も機関によって使い方が違う。
益田委員	こども大綱はどう書くのか。
吉田委員	こどもは全てひらがなになっている。こども家庭庁が使う場合は、全てひらがなになっている。
事務局（山下部長）	こども家庭庁の使う「こども」は、発展途上にいる人間をすべてこどもとしているようだ。事務局としては「子ども」を使いたい。
笠原会長	この方針では、「子ども若者」という表記にしているので、そこは一貫して「子ども若者」という表記でよろしいかと思う。
本多副会長	部の名前が「子ども若者部」だがそこに合わせるという考えもあるのか。
事務局（山下部長）	特段、部に合わせるということはないが、3ページにあるように、基本的には「子ども若者」とし、法令等については正式名称で「子ども・若者」を使っている。
笠原会長	吉田委員からは、支援が入った方が良いのではというご意見だった。他のご意見はいかがでしょうか。
竹内委員	小田原市子ども若者未来指針だと、子どもと若者が目指す指針というように感じ取れてしまう。どちらかという支援する側の指針で、支援や育成という立場の方針かと思うので、それが明確に分かるような文言が入った方が良いかと思う。
笠原会長	名称は本日決めないといけないですよ。もう少しだけ感じの名称でも良いのかと思う。今の案は漢字が並んでいるだけだが、「子ども若者の未来を支援する方針」など、神奈川県の名称を考えるとそういった名称もありなのではないかと。
中島委員	子ども若者支援指針は良いかと思う。2ページの4行目にも「子ども若者支援に関する基本となる方針として」と記載もある。
吉田委員	内容的には「方針」としているので、「子ども若者支援方針」でも良いのかなと思う。
笠原会長	方針と指針で厳密な違いがあるのか。こうしなければいけないということはあるか。
事務局（山下部長）	特に無い。県は指針となっている。

竹内委員	大きな違いはないようだが、指針は外部からの影響で決める、方針は自発的に決めたものという意味あいがあるようなので、方針の方が合うのではないかと思う。
益田委員	今の竹内委員のお話を聞いて、周りが引っ張ってというよりも、子ども若者が自発的に生きる力をつけてほしいという思いがあるので、指針より方針の方が合うかなと思う。支援方針が良いかと感じた。 子ども若者の未来を支える方針も良いかと思ったが。
堀内委員	方針という文言が随所には出ているので、方針で良いかと思う。
赤羽委員	方針の趣旨等を考えれば、行政と市民がともに支援といった言葉が多くはいつている。一定の方向性を示すと言った意味では支援といった言葉は適切かと思う。
伊東委員	一市民としての視点であれば、前の名称だと、漢字ばかりで何が始まるのかと思うし分かりづらいが、支援といった文言がはいっていた方が一目で分かりやすい。支援方針でいいと思った。
岩崎委員	青少年は無いと思った。支援だと包括的すぎて幅広で、どこを目指して支援するのかボンヤリするが、使ってもいいと思う。どこに向かっているかと考えると、未来は入れても良いのでは。子ども若者未来が入った方が良いかと思った。
塩浦委員	最初に「子ども若者未来指針」で良いかと思ったが、皆さんの意見も聞いて支援方針は確かに一番落ち着くと感じた。
加藤委員	神奈川県の方針を小田原に変えて「子ども若者支援方針」が良いかと思う。
中島委員	支援方針で良いかと思う。
永森委員	支援方針が全体包括出来て良いかと思う。
富樫委員	支援方針で良いかと思う。
吉田委員	支援方針で良いかと思う。
竹内委員	方針と指針なら方針が良いと思ったが、11ページの体系を見た時に、方針が書かれていて設計がややこしい気がした。名称だけ考えるといいのだが。名称は計画などにした方が良いのかと思った。
笠原会長	岩崎委員は未来といった言葉にこだわりがあるのか。
岩崎委員	特に無い。せっかくこの会議が未来会議なのには思った。
吉田委員	未来を入れるならサブタイトルとして入れたらどうか。小田原市の未来に向けた子ども若者未来指針など。または、頭に「小田原市の未来を創る」として、「子ども若者支援方針」とするか。
堀内委員	支援ビジョンはどうか。大きな行動計画の目標といった、子ども若者未来支援ビジョン。
笠原会長	この後、これに付随する計画などが策定されていく予定のため、計画やビジョンだと他の計画等との整合性を取りづらいのではないかと感じた。
事務局（山下部長）	子ども若者支援事業計画に、個別の事業は位置づけられている。また、この方針については、現在は大人側で議論しているが、法律で、当事者である子ども若者にも意見を聞くとなっているので、そういった意味で、子ども若者が取っつきやすいという観点でも議論していただければと思う。
笠原会長	吉田委員からは、「小田原市の未来を創る 子ども若者未来指針」はどうかと意見があったが。
岩崎委員	子ども若者のための未来というより、小田原市の未来という印象がある。自分的には「子ども若者未来方針」の方が良いかと思った。

吉田委員	長くても良いのなら、「小田原市子ども若者の未来を支える方針」が全部包括していると思う。
益田委員	先程、子どもと一緒にという話があったので、硬い雰囲気よりは柔らかい方が良いのかと感じた。
笠原会長	それでは、「小田原市子ども若者の未来を支える方針」で良いか。良いと思われる方は挙手をお願いします。
	全員賛成
笠原会長	名称については、「(仮称) 小田原市子ども若者の未来を支える方針」に決定する。